

日本保健物理学会 新 Newsletter 2018年7月12日号

送信者:一般社団法人日本保健物理学会<exec.off@jhps.or.jp> 2018/07/14 :37:34

---

日本保健物理学会 新 Newsletter 2018年7月12日号

---

1. 学会関連情報

○日本保健物理学会第51回研究発表会（6月29日（金）～30日（土）、ホテルライフォート札幌）終了  
両日合わせて300人を超える参加者があり大変大きな大会となりました。皆様のご参加とご協力に対して、心から深い感謝の意を表します。  
来年の大会は杜の都、仙台での開催でございます。  
こちらますばらしい研究発表会になることを祈念しながら、次期実行委員会へバトンを渡したいと思ひます。  
（真田大会長より）

○真田大会長からのバトンを引き継ぎ、日本保健物理学会第52回研究発表会は日本放射線安全管理学会学術大会との合同大会として仙台で開催いたします。  
開催日時は平成31年11月末もしくは12月初めになる予定です。決まり次第お知らせいたします。  
（吉田大会長より）

○理事会、国際対応委員会 SRP（英国放射線防護学会）との連携に向けた会合を開催  
日本保健物理学会第51回研究発表会に招聘したSRP（英国放射線防護学会）の次期会長のPete Bryant氏と意見交換を行いました。  
来年の仙台大会の前日にYGNセッション（使用言語：英語）を開催し、SRPおよびKARP（韓国放射線防護学会）の若手会員を、参加費を免除して招聘する方向で検討  
<http://www.jhps.or.jp/cgi-bin/news/page.cgi?id=115>  
SRP側での記事  
<https://mailchi.mp/srp-uk/srp-news-practical-alarp-event-cosmic-radiation-video-and-more-2012225?e=9b4acee701>

○編集委員会 5月末に電子ジャーナルとして発行しました「保健物理」53-1号につきまして、下記の電子書籍サイトより冊子体（紙媒体）として購入頂けるようになりました。冊子体をご希望の方は、上記サイトより各自でお申し込み頂けます。カラー印刷で、1,825円（税込）となっております。  
[https://honto.jp/netstore/pd-book\\_29128431.html](https://honto.jp/netstore/pd-book_29128431.html)

2. 関連する研究情報

○文科省・新学術領域研究・学術研究基盤形成事業「短寿命RI供給プラットフォーム」H30年度下期の実験課題募集  
<http://www.rcnp.osaka-u.ac.jp/~ripf/info/index.html>

(論文情報)

○Health Physics [01 Aug 2018, 115(2):259-274]

福島県民のWBC測定に関してのテクニカルな問題点に重点を置いた教訓のまとめ。原発事故直後に甲状腺の直接測定が困難もしくは不可能なときに甲状腺の線量をWBCで評価するための効率的な使用について議論。

Experiences of Population Monitoring Using Whole-Body Counters in Response to the Fukushima Nuclear Accident

Kurihara O et al

<https://europepmc.org/abstract/MED/29957688>

○Sci Rep. 2018. 8(7). doi: 10.1038/s41598-018-28620-6.

米国診療放射線技師(USRT)コホートの眼疫学研究において、自己報告の緑内障と黄斑変性のリスクは有意に増加しないことを報告。約7万人の診療放射線技師を追跡。平均被ばく線量は58mGy。

Occupational radiation exposure and glaucoma and macular degeneration in the US radiologic technologists  
Little MA et al

<http://www.nature.com/articles/s41598-018-28620-6>

○Environ Health. 2018. 26:17(1):49.

米国の航空乗務員において、乳がん、メラノーマ、非メラノーマ皮膚がんの有病率のリスクが有意に増加すると報告し、その原因が宇宙放射線被ばくにあると議論している。

注記) ここでのリスクとは一般公衆と航空搭乗員を比較した標準化有病率であり、線量情報もないため、注意が必要。

Cancer prevalence among flight attendants compared to the general population

McNeely E et al

<https://ehjournal.biomedcentral.com/track/pdf/10.1186/s12940-018-0396-8>

○Radiation Measurements Volume 116, September 2018, Pages 46-50

日本のイノシシの歯のESR線量計への適用。1.2-12.0 Gy間でリニアな線量応答を示したが、同一個体の左右の歯で異なる線量応答性が見られた。

永久歯より乳歯での線量応答性のほうが、変動が小さい。若い個体の歯のエナメルを用いて上記線量レンジにおける線量再構築のキャリブレーション曲線法の使用の可能性を示した。

Suitability of Japanese wild boar tooth enamel for use as an Electron Spin Resonance dosimeter

Harshman A et al

<https://www.sciencedirect.com/science/article/pii/S1350448718302592#!>

3. ニュースや社会の動き

○ICRP タスクグループ90 報告書草案「Dose Coefficients for External Exposures to Environmental Sources」の公開意見募集を開始 (意見提出締切10/12)

<http://www.icrp.org/page.asp?id=389>

○原子力規制委員会、「特定放射性同位元素の防護措置の導入に係る関係法令の改正案及び放射性同位元素等による放射線障害の防止に関する法律施行令の一部を改正する政令案」に対する意見募集を実施。RI法改正の第二段階および飼育動物へのPET検査導入に関するもの。(8月10日締切)

[http://www.nsr.go.jp/procedure/public\\_comment/20180712\\_01.html](http://www.nsr.go.jp/procedure/public_comment/20180712_01.html)

○内閣府 「平成29年度版原子力白書」のPDF版を公開 7月5日に原子力委員会で決定され、7月6日に閣議配布されたもの ダウンロードはこちらから

<http://www.aec.go.jp/jicst/NC/iinkai/teirei/siryo2018/siryo23/1-1.pdf>

○WHO New WHO guidance document “Management of radioactivity in drinking-water” 発行  
ダウンロードはこちらから

<http://apps.who.int/iris/bitstream/handle/10665/272995/9789241513746-eng.pdf>

○NCRP Kathryn D. Held氏がNCRPの第6代会長に2019年1月に就任することが決定

[https://ncrponline.org/wp-content/themes/ncrp/PDFs/Press\\_Rel/2018/KDH\\_Pres\\_announce.pdf](https://ncrponline.org/wp-content/themes/ncrp/PDFs/Press_Rel/2018/KDH_Pres_announce.pdf)

#### 4. これからのイベント

○2018日本放射化学会年会・第62回放射化学討論会 本学会共催(9月18?20日、京都大学 吉田キャンパス)

<http://www.rri.kyoto-u.ac.jp/isotope/>

○大阪大学「大阪大学放射線科学基盤機構」発足記念行事(8月1日、千里ライフサイエンスセンター)  
参加登録はこちらから

<https://goo.gl/forms/bb7rY3ZSTqMgXs8N2>

○東京大学大学院工学系研究科原子力国際専攻

国際原子力機関 Wolfram Tonhauser 氏講演会「The role of the IAEA in the development of nuclear law」  
(7月19日、東京大学工学部1号館1階15号講義室 本郷キャンパス)

<http://www.n.t.u-tokyo.ac.jp/news/%E5%9B%BD%E9%9A%9B%E5%8E%9F%E5%AD%90%E5%8A%9B%E6%A9%9F%E9%96%A2-wolfram-tonhauser%E6%B0%8F%E8%AC%9B%E6%BC%94%E4%BC%9A-special-lecture-by-mr-wolfram-tonhauser-iaea-%E3%80%8Cthe-role-of-the-iaea-in-t/>

<http://www.n.t.u-tokyo.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2018/06/Wolfram-Tonhauser%E6%B0%8F%E8%AC%9B%E6%BC%94%E4%BC%9A%E3%81%AE%E3%81%94%E6%A1%88%E5%86%85.pdf>

<http://www.n.t.u-tokyo.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2018/06/Wolfram-Tonhauser%E6%B0%8F%E8%AC%9B%E6%BC%94%E4%BC%9A%E3%81%AE%E3%81%94%E6%A1%88%E5%86%85.pdf>

○福井工業大学 公開講座 原子力産業の将来とそれを支える福井での産学官連携  
～原子力技術応用工学科創設15周年を目前に～(7月18日、福井工業大学)

[http://www.fukui-ut.ac.jp/school\\_lecture/yotei/department/entry-4059.html](http://www.fukui-ut.ac.jp/school_lecture/yotei/department/entry-4059.html)

○日本原子力学会 リスク部会

「安全目標」再考—なぜ安全目標を必要とするのか?— シンポジウム (8月26日、東大本郷キャンパス)

<http://risk-div-aesj.sakura.ne.jp/seminar.html>

○日本原子力学会原子力安全部会 第6回「原子力安全夏期セミナー」

(8月20日-22日、福島 土湯温泉「ホテル山水荘」)

<http://www.aesj.or.jp/~safety/>

○日本原子力学会中部支部 2018年夏原子力オープンスクール「原子のちから、原子の不思議」

(7月29日、中部電力 でんきの科学館)

<http://www.aesj.or.jp/~chubu/>

5. 公募情報、学生・ポスドク受入情報

○新潟大学教育研究院医歯学系保健学系列放射線技術科学専攻 教授 (締切: 8月24日17時必着)

<http://www.clg.niigata-u.ac.jp/教員公募/>

○新潟大学教育研究院医歯学系保健学系列検査技術科学専攻 助教 (締切: 8月27日必着)

<http://www.clg.niigata-u.ac.jp/教員公募/>

○北里大学医療工学科 診療放射線技術科学専攻 (臨床画像技術学) 教授 (締切: 10月26日必着)

[https://jrecin.jst.go.jp/seek/SeekJorDetail?fn=4&id=D118070543&ln\\_jor=0&top\\_btn=1](https://jrecin.jst.go.jp/seek/SeekJorDetail?fn=4&id=D118070543&ln_jor=0&top_btn=1)

○国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構放射線医学総合研究所 放射線防護情報統合センター  
任期付き常勤研究員 (締切: 11月30日 必着、適任者の採用が決まり次第、募集締切)

[http://www.qst.go.jp/Portals/0/pdf/recruit/JP/NIRS/29nirs\\_95\(%E9%9A%8F%E6%99%82\).pdf](http://www.qst.go.jp/Portals/0/pdf/recruit/JP/NIRS/29nirs_95(%E9%9A%8F%E6%99%82).pdf)

既発行の新 Newsletter はこちらです。

<http://www.jhps.or.jp/cgi-bin/newsletter/page.cgi>

新 Newsletter にて発信を希望する情報をお持ちの方は、学会事務局へご連絡・お問い合わせください。

.....

【発行】一般社団法人日本保健物理学会

【編集】同企画委員会

【発信元】同学会事務局

TEL: 03-6205-4649 FAX: 03-6205-4659

E-mail: [exec.off@jhps.or.jp](mailto:exec.off@jhps.or.jp)

.....